

Producer meets BLITZ

奥田民生、青山テルマ、9mm Parabellum Bulletら出演！

**寺岡呼人、今井了介、いしわたり淳治
話題の3プロデューサーがおくる
BLITZ 3days LIVE！！**

「出れんの！？サマソニ」のキャッチコピーで
昨年のサマーソニック東京“SIDE-SHOW MARINE”にて開催された
e+プロデュースのLIVEイベント
「e+エンタメ市場《meets》× SUMMER SONIC 09」

このステージに出演を果たしたアーティストは
応募総数2,106組の中から
一般ユーザーによるネット投票と
プロデューサー・アーティスト陣の選考を経て選ばれた16組。

このイベントの選考員として出会った気鋭のプロデューサー3人が
今度はそれぞれがプロデュースする
オリジナルライブを引っさげてBLITZでmeets！

プロデューサーとの関わりが強い
個性豊かなアーティストたちに加えて
各プロデューサーが選び
サマソニmeetsステージに出演を果たしたバンドも参戦！

3/19・20・21はBLITZが熱い！！

Producer meets BLITZ 開催概要

今井了介プロデュース

TinyVoice,Production presents 『JUICE』

2010年3月19日(金) 横浜BLITZ

開場18:30 開演19:00 1Fスタンディング ¥4,000 2F指定 ¥4,000

【ラインアップ】

ZEEBRA / 青山テルマ / SugarShack Family (三浦大知 /
LL BROTHERS / HI-D / LEO / TSUYOSHI / L&J / MICHIIYA / 真之介) /
EMI MARIA / The Open Reel Ensemble (サマソニmeets出演)
and more. . .

寺岡呼人プロデュース

Yohito Teraoka presents 『Golden Circle vol.14』

2010年3月20日(土) 赤坂BLITZ

開場16:30 開演17:00 1Fスタンディング ¥6,000 2F指定 ¥6,000

【ラインアップ】

寺岡呼人 / ムツシュかまやつ / 奥田民生 / Who the Bitch (サマソニmeets出演)
and more. . .

いしわたり淳治プロデュース

Junji Ishiwatari presents 『相思創合2010』

2010年3月21日(日・祝) 赤坂BLITZ

開場16:30 開演17:00 1Fスタンディング ¥3,500 2F指定 ¥3,500

【ラインアップ】

9mm Parabellum Bullet / LEO今井 / FLiP / moja (サマソニmeets出演)

一般発売日:2月13日(土)

INFORMATION <http://eplus.jp/meets/>

主催:e+(イープラス) / TBS / 読売新聞yorimo

フェイスミュージックエンタテインメント (3/20のみ)

制作:フェイスミュージックエンタテインメント

協力:TinyVoice,Production (3/19のみ)

Producer Profile ～今井了介～



音楽プロデューサー。

doubleやFull Of harmonyらR&Bを中心に数多くの作品を生み出す。安室奈美恵の転機となる『Suite Chic』の企画・発案、チャリティープロジェクト『VOICE OF LOVE』では、国際NGOを介したフィリピン・ガーナへの学校建設など音楽を通して社会貢献を。ZEEBRA・DJ KEN-BOとのProd.ユニット『FIRSTKALS』ではMTVアワードでプレゼンターも務める。次世代の可能性を見据え、MTVでのオーディションや、近年ではSUMMER SONIC09『出れんの!?サマソニ!?』選考員としても活躍。Mine-Chang・UTA・MANABOON等若手クリエイターの育成にも力を入れている。

<http://www.tinyvoice.com/>

～今井了介氏からのコメント～

90年代に入って心揺り動かされた音楽、R&Bが最も輝いていた日々、R&Bの初期衝動、こんな音楽がやりたい、こんな音楽がある事をみんなに知って欲しい！

・・・そんな思いから、2000年4月22日からJUICEというR&Bのパーティーを始めました。当時まだ手探りでやっていたイベントでしたが、Full of Harmony,BENNIE K,double,Al,HI-D,ZEEBRA,L.L Brothers,Verbalなど...今でも一線で活躍しているHIP HOP / R&Bのアーティスト、そしてダンサー・DJが一同に会していました。

そして2010年、アーティストもクリエイターも更に進化しています。

当時から苦楽を共にして来た仲間たち、そして今を突っ走るニューカマー。

みんなと一緒に1日だけのJUICE復活。お祭りです！

今井了介 for TinyVoice,Production

Producer Profile ～寺岡呼人～



1968年2月7日生まれ。広島県出身
1988年に“JUN SKY WALKER (S)”のベーシストとしてデビュー。1993年に自身の音楽を探究する為に脱退。その後、ソロでのアーティスト活動と並行して、ルーツミュージックと日本のポップミュージックのエッセンスを取り入れた独特の感性を生かしたプロデュース活動を行い、“ゆず”“矢野真紀”“D.W.ニコルス”“植村花菜”などを手掛ける。
また、自身がリスペクトする3世代のアーティストとコラボレーションするライブイベント“GOLDEN CIRCLE”を2001年に立ち上げる。
その他、全国を一人弾語りで行脚する“徒然道草”ツアーやマンスリーイベント“呼人の部屋”など、その活動は多岐に渡る。

<http://www.faith-group.co.jp/YohitoTeraoka/>

～寺岡呼人氏からのコメント～

2009年夏のイベント『出れんのサマソニ』は色んな意味で自分に大きな影響を与えてくれた。一番は「プロとアマチュアの差とは何だろう？」という事。それぐらい、このイベントに参加してくれたアーティストのレベルは高かったし、刺激をもらった。選考方法など、選ぶ側のセンスも素晴らしく、また真剣で、非常に有意義だった。今回またその時のメンバーでこうした企画ができて嬉しい。ああいうイベントはその場限りになりがちなのに、こうして繋がっていつてるのは、出る側も選ぶ側も真剣だったからだと思う。

僕は数年前からやっている『ゴールデンサークル』としてやらせてもらいます。このイベントは“3世代”が主な目的で、僕がリスペクトする世代、僕と同じ世代、そして若い世代が同じステージに出るという、ありそうで中々ないイベントです。夏フェスなど、その時に旬なアーティストを観るというのも素晴らしいですが、観る側に音楽の「縦の歴史」を観てもらふ事により、より立体的に音楽を感じてもらいたい、というのが目的です。欧米ではごく普通の事ですが、旬ばかりではなく、「歴史」を伴って初めて「文化」になると思うのです。

今回は『出れんのサマソニ』で寺岡呼人賞だったWho the Bitchに出てもらいます。ロックバンドの初期衝動に溢れていて、尚かつポップ。そして、ロックバンドの初期衝動の元祖といえばスパイダース！その中で70を超えても現役に格好いいムツシュかまやつさんが特別ゲストで出てくれます。そして、同年代からは奥田民生。

この「縦の歴史」に何を感じ、どんなマジックがおこるのか当日のお楽しみという事で！是非、みなさん『ゴールデンサークル』に遊びに来てください！

Producer Profile ～いしわたり淳治～



青森県出身 1977年8月21日生まれ。

1997年にロックバンドSUPERCARのメンバーとしてデビュー。アルバム7枚、シングル15枚を発表し、全曲の作詞とギターを担当。

2005年のバンド解散後は、作詞家、チャットモンチー、9mm Parabellum Bullet、a flood of circleなどの音楽プロデューサーとして活動するかたわら、雑誌等への執筆もおこなっている。

<http://kihon.eplus2.jp/>

～いしわたり淳治氏(相思創合)からのコメント～

相思創合は言うまでもなく相思相愛のもじりですが、何故このようなタイトルをつけてしまったのかと実は、今さらながら2つの理由で後悔しています。

1つ目は、思いついたときこそ「いっひっひ」とひとりほくそ笑んでいたのですが、あとで冷静に考えたら、ただの質の低いダジャレじゃん、と気が付いてしまった、ということで、相思創合。なんか、いかにもオッサンが考えた田舎の中学校の校訓みたいじゃないですか。失笑。

でも皆さん。人は誰しも、30歳を越えると判断がにぶるというか何というか、頭の中で思いついたダジャレをなぜか止めることが出来なくなって、無意識のうちに口に出してしまうものなのです。若気の至りならぬ、ジジ気の至りと申しましょうか。いやはや、歳はとりたくないものです。

そして、2つ目は、いやどちらかというところの方が深刻な理由なのですが、アーティストの了承も得ずにこちら側が一方向的に「相思相愛」と言い切ってしまった、その痛さです。もしかしたら片思いかもしれないのに、両思いだって信じたい私。でもそれを確認する勇気もない私。純情。みたいな。

ああもう。何故こんなタイトルにしてしまったのでしょうか。とはいえ、このタイトルにしてしまった以上、後には引けませんから、出演するアーティストの皆さんは、どうかライブの当日くらいは、くれぐれも私に気を遣って全力で相思相愛のふりをして欲しいと思います。楽屋や打ち上げ会場でも、だなんて贅沢は言いません。せめて、ステージの上だけでも、さも楽しげに、これでもかというほどの素敵なライブをして下さい。そして、それを見に来たファンの皆さんは、誰がプロデュースしたバンドが集まっているだとか、そんなことは一切忘れて、ただひたすら目の前でに行われているライブを楽しむことだけに専心して下さい。私が心から惚れたとても才能の溢れたバンドばかりですから、きっとすばらしいイベントになるはず。す。